

平成20年度「地域における国際協力推進フォーラム」の開催について

(財)自治体国際化協会では、自治体が施策の一環として取り組む国際協力事業に対して各種支援を行っております。

この度、地域の特性を活かした国際協力活動を推進する人材の育成を目的として、平成20年度「地域における国際協力推進フォーラム」を開催することといたしました。

当フォーラムの開催は、平成18年度（福岡県にて開催）、平成19年度（岡山県にて開催）に続いて3回目の開催であり、今年度は兵庫県の協力の下、兵庫県神戸市で開催します。

記

- 内容** 国際協力の実践者等によるパネルディスカッションや「防災」・「環境」・「多文化共生」の分科会を通して、近畿地域で行われている先進的な国際協力事例を紹介し、地域に支えられた国際協力のあり方や、それに向けて自治体や地域国際化協会、NGO、国際協力機関等がどのように連携していくべきなのか、その方策について参加者間の意見交換や議論を通して考えます。
- 日時** 平成20年11月28日(金) 10:00～17:30
(交流会18:00～19:30)
- 会場** 独立行政法人国際協力機構 兵庫国際センター
(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2)
- 対象** 国際協力業務に携わる地方自治体職員、地域国際化協会職員、国際交流協会職員、国際協力NGO・国際機関関係者、国際交流員(CIR)等
- 募集人数** 定員150名
- 参加費** 無料
- 共催** 兵庫県、(財)兵庫県国際交流協会、(財)自治体国際化協会

※詳細は別添プログラムにてご確認ください。

連絡先

(財)自治体国際化協会
支援協力部国際協力課
課長：藤井 主査：瀧口
電話：03-5213-1726

「地域における国際協力推進フォーラム」

～ひょうご国際協力セミナー～

地域に支えられた 国際協力をめざして

共催：兵庫県、(財)兵庫県国際交流協会、(財)自治体国際化協会
協力：独立行政法人国際協力機構（JICA） 兵庫国際センター

●内容

国際協力の実践者等によるパネルディスカッションや「防災」・「環境」・「多文化共生」の分科会を通して、近畿地域で行われている先進的な国際協力事例を紹介し、地域に支えられた国際協力のあり方や、それに向けて自治体や地域国際化協会、NGO、国際協力機関等がどのように連携していくべきなのか、その方策について参加者間の意見交換や議論を通して考えます。

●日時

2008(平成20)年11月28日(金) 10:00-17:30 (交流会 18:00-19:30)

●会場

独立行政法人国際協力機構 兵庫国際センター (神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2)
(アクセス：JR「灘」駅から徒歩約12分、阪神「岩屋」駅から徒歩約10分)

地図：<http://www.jica.go.jp/hyogo/office/access.html>

●対象

地方自治体職員、地域国際化協会職員、市区町村の国際交流協会職員、国際協力NGO・NPO・国際協力関係機関の関係者、国際交流員(CIR)、関心ある一般市民の方

●募集人数

定員 150名 (申込み先着順)

●参加費

無料 (交流会参加費も無料です)

※遠方からご参加の方はJICA兵庫に宿泊できます(要申込・宿泊費自己負担・部屋数に限りがありますので、ご希望の方はご相談ください)

●申し込み方法

所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、電子メールもしくはFAXでお申し込みください。下記のネット上からもお申し込みいただけます

(http://www.plaza-clair.jp/lib/mail_post.php?form=workshop)

※ネットからのお申し込みの場合、参加を希望する分科会・交流会への参加の有無を特記事項にご記入ください

●申し込み締切

2008(平成20)年11月14日(金) 必着

●申し込み・連絡先

(財)自治体国際化協会(CLAIR) 市民国際プラザ (担当：井上)

〒102-0083 東京都千代田区麴町 1-7 相互半蔵門ビル 1階

TEL：03-5213-1734 FAX：03-5213-1740 E-mail：inoue_dan@plaza-clair.jp

●プログラム（内容・時間配分が若干変更される場合がありますので、予めご了承ください）

時間	内容・進め方	講師・事例発表団体
9:30-	受付開始	
10:00-10:15 (15分)	開会挨拶 兵庫県、(財)自治体国際化協会	
10:15-12:00 (105分)	パネルディスカッション 自治体・NGO・国際協力機関より、国際協力の現状に精通したパネリストを招き、テーマに沿って、それぞれの立場から国際協力活動の現状や、今後の課題・展望などをお話しいただく。 また、地域社会によって支えられた国際協力を実現させるための方策や、そのための各セクター間の連携・協働のあり方について併せて議論いただく。	パネリスト(順不同) ・藤野達也氏((特活)関西NGO協議会／代表理事、財団法人PHD協会／総主事代行)〈兼コーディネーター〉 ・有田典代氏((特活)関西国際交流団体協議会／事務局長) ・多木和重氏(兵庫県産業労働部観光・国際局／局長) ・向井一朗氏(独立行政法人国際協力機構兵庫国際センター／業務課長)
13:30-16:15 (165分) ※各分科会 同時進行	分科会 第1分科会: 防災 事例①兵庫県が「国際防災・人道支援協議会」を通じて実施する国際的な減災対策の推進および防災協力関係機関等とのネットワークづくり 事例②マレーシアのサラワク州の先住民コミュニティに対して2006年度から3カ年計画で実施している「住民組織による消防・防災体制作りのモデルプラン作成事業」 →事例を基にワークショップ形式で議論	ファシリテーター: 藤野達也氏 事例発表者: 事例①村田昌彦氏(阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター／主幹兼事業課長) 事例②安川雅雄氏(インターユース堺／事務局次長) 高田慎太郎氏(インターユース堺／事務局員)
	第2分科会: 環境 事例③中国・陝西省での植樹協力事業として、京都府が府立高校の協力のもと実施した、調査研究林「友好の森」を設置する「高校生国際林業技術協力事業」 事例④滋賀県竜王町で実施されている、農と国際的環境保全を軸とした「都市(まち)」と「農村(むら)」との交流モデル形成事業 →事例を基にワークショップ形式で議論	ファシリテーター: 中尾秀一氏((財)アジア福祉教育財団難民事業本部 関西支部／支部長代行) 事例発表者: 事例③山名英夫氏(京都府立北桑田高等学校／教諭) 事例④山口智大氏((社)日本国際民間協力会／琵琶湖モデルファーム事業担当)
	第3分科会: 多文化共生 事例⑤京都市、(財)京都市国際交流協会、(特活)多文化共生センターきょうとが協働で進める医療通訳派遣事業 事例⑥(特活)たかとりコミュニティセンターがめざす多文化共生のまちづくりと自治体等との連携・協働 →事例を基にワークショップ形式で議論	ファシリテーター: 有田典代氏 事例発表者: 事例⑤濱屋伸子氏((財)京都市国際交流協会 事業課情報サービス係／主任) 事例⑥吉富志津代氏((特活)たかとりコミュニティセンター／常務理事)
16:30-17:30 (60分)	全体会 分科会1～3のファシリテーターから分科会の報告と全体での質疑応答や意見交換	コーディネーター: 藤野達也氏
18:00-19:30 (90分)	交流会	